

科目名	ブランドプロデュースⅡ				
担当教員	久島 実里/大倉 敦志	実務授業の有無	○		
対象学科	ブランドプロデュース科	対象学年	2	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数	6	時間数	120時間
授業形態	対面授業のみ	対面授業と遠隔授業の併用		遠隔授業	
授業概要、目的、授業の進め方	1.オリジナルブランドの立案 2.オリジナルブランドのプレゼンテーション 3.コレクションとしての発表				
学習目標 (到達目標)	夏のファッションショーに向け自分のブランドの企画商品を生産しスタイリング発表する。パターンなど洋服の作りを理解し生産指示書を作成できる。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	Adobe IllustratorCC				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	導入・企画		ブランド立案コンセプトとは		
2	ブランド立案		ブランド名・コンセプト作業		
3	プレゼンテーション		プレゼンテーション		
4	デザイン会議		デザイン決定・担当決め		
5	パターン・グラフィック		パターン作業・グラフィック作業		
6	テキスタイルワーク		生地決め		
7	縫製職だし		職だし作業		
8	メイク・スタイリング		メイク・スタイリング作業		
9	フィッティング		フィッティングチェック		
10	撮影・ポートレート制作		撮影プランニング		
11	撮影・ポートレート制作		撮影ロケハン		
12	撮影実習		撮影		
13	撮影実習		撮影		
14	撮影実習		写真修正・セグメント		
15	撮影実習		写真修正・セグメント		
16	レイアウトワーク		レイアウト提出		
17	雑貨デザインコンペティション		デザイン作業		
18	雑貨デザインコンペティション		デザイン作業		
19	雑貨デザインコンペティション		デザイン作業・提出・応募		
20	雑貨デザインコンペティション		デザイン作業・提出・応募		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
企画書60%/プレゼンテーション20%/雑貨デザインコンペ20% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			全ての課題を提出すること 自分のブランドの企画以外にも責任持って協力し、ファッションショーを成功させること		
実務経験教員の経歴	家政系大学卒業後、アパレル販売職を4年経験後、企画職を3年間経験/県内ニッターでパタンナー、生産管理を歴任。フリーランスでWEBデザインやブランディングを経験。				

科目名	ファッション販売能力検定対策Ⅱ(A科目)				
担当教員	大澤 清孝		実務授業の有無	○	
対象学科	ブランドプロデュース科、 ファッションビジネス科、 ファッションスタイリスト科 (スタイリストプレスコース)、 大学併修ファッション科	対象学年	2	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	40時間
授業形態	対面授業のみ	対面授業と遠隔授業の併用		遠隔授業	
授業概要、目的、 授業の進め方	1.ファッション販売能力検定ⅡA科目の知識を習得 2.ファッションビジネス、ファッションマーケティング、ファッション産業、 ファッショントレンド、接客マナー、消費者行動等の理解 3.テキスト、過去問題での復習				
学習目標 (到達目標)	ファッション販売能力検定2級A科目の合格レベルの習得				
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	ファッション販売2/ファッション販売能力検定試験問題集2級				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	ファッション販売知識①		教科書 p8~p9 過去問題演習		
2	ファッション販売知識②		教科書 p10~p12 過去問題演習		
3	ファッション販売知識③		教科書 p13~p14 過去問題演習		
4	ファッション販売知識④		教科書 p15~p19 過去問題演習		
5	ファッション販売技術①		教科書 p20~p24 過去問題演習		
6	ファッション販売技術②		教科書 p25~p30 過去問題演習		
7	ファッション販売技術③		教科書 p31~p35 過去問題演習		
8	ファッション販売技術④、⑤		教科書 p36~p47 過去問題演習		
9	ファッション販売技術⑥		教科書 p48~p51 過去問題演習		
10	ファッション販売技術⑦、⑧		教科書 p52~p61 過去問題演習		
11	マーケティング①		教科書 p152~p155 過去問題演習		
12	マーケティング②		教科書 p156~p160 過去問題演習		
13	マーケティング②		教科書 p161~p166 過去問題演習		
14	マーケティング③		教科書 p167~p173 過去問題演習		
15	試験対策		模擬テスト		
16	試験対策		模擬問題解答・解説		
17	試験対策		模擬テスト		
18	試験対策		模擬問題解答・解説		
19	前期試験		前期試験		
20	前期試験解答・解説		解答・解説		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
試験評価100% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			教科書は毎時間準備すること 授業内での配布物は全て保管すること		
実務経験教員の経歴	スタイリスト歴15年				

科目名	ファッション販売能力検定対策Ⅱ(A科目)				
担当教員	大澤 清孝		実務授業の有無	○	
対象学科	ブランドプロデュース科、 ファッションビジネス科、 ファッションスタイリスト科 (スタイリストプレスコース)、 大学併修ファッション科	対象学年	2	開講時期	後期
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	40時間
授業形態	対面授業のみ	対面授業と遠隔授業の併用		遠隔授業	
授業概要、目的、 授業の進め方	1.ファッション販売能力検定ⅡA科目の知識を習得 2.ファッションビジネス、ファッションマーケティング、ファッション産業、 ファッショントレンド、接客マナー、消費者行動等の理解 3.テキスト、過去問題での復習				
学習目標 (到達目標)	ファッション販売能力検定2級A科目の合格レベルの習得				
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	ファッション販売2/ファッション販売能力検定試験問題集2級				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	A科目過去問題①		第43回 過去問題A科目試験形式及び解答		
2	A科目過去問題①		第43回 過去問題A科目 解説・振り返り		
3	A科目過去問題②		第42回 過去問題A科目試験形式及び解答		
4	A科目過去問題②		第42回 過去問題A科目 解説・振り返り		
5	A科目過去問題③		第41回 過去問題A科目試験形式及び解答		
6	A科目過去問題③		第41回 過去問題A科目 解説・振り返り		
7	A科目過去問題④		第40回 過去問題A科目試験形式及び解答		
8	A科目過去問題④		第40回 過去問題A科目 解説・振り返り		
9	A科目過去問題⑤		第39回 過去問題A科目試験形式及び解答		
10	A科目過去問題⑤		第39回 過去問題A科目 解説・振り返り		
11	A科目過去問題⑥		第38回 過去問題A科目試験形式及び解答		
12	A科目過去問題⑥		第38回 過去問題A科目 解説・振り返り		
13	検定対策		対策ワード解説		
14	検定本番問題の解答・解説①		検定本番問題の解答・解説・振り返り		
15	検定本番問題の解答・解説②		検定本番問題の解答・解説・振り返り		
16	試験対策		模擬問題		
17	試験対策		模擬問題解答・解説		
18	後期試験		後期試験		
19	後期試験解答・解説		解答・解説		
20	一年間のまとめ、振り返り		一年間のまとめ、振り返り		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
試験評価100% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			教科書は毎時間準備すること 授業内での配布物は全て保管すること		
実務経験教員の経歴	スタイリスト歴15年				

科目名	ファッション販売能力検定対策Ⅱ(B科目)				
担当教員	大澤 清孝		実務授業の有無	○	
対象学科	ブランドプロデュース科、 ファッションビジネス科、 ファッションスタイリスト科 (スタイリストプレスコース)、 大学併修ファッション科	対象学年	2	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	40時間
授業形態	対面授業のみ	対面授業と遠隔授業の併用		遠隔授業	
授業概要、目的、 授業の進め方	1.ファッション販売能力検定ⅡB科目の知識を習得 2.ファッションビジネス、ファッションマーケティング、ファッション産業、 ファッショントレンド、商品素材知識、ビジュアルマーチャндаイジング等の理解 3.テキスト、過去問題での復習				
学習目標 (到達目標)	ファッション販売能力検定2級B科目の合格レベルの習得				
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	ファッション販売2/ファッション販売能力検定試験問題集2級				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	商品知識①		教科書 p61～p93 過去問題演習		
2	商品知識②		教科書 p94～p107 過去問題演習		
3	商品知識③		教科書 p108～p111 過去問題演習		
4	商品知識④		教科書 p112～p117 過去問題演習		
5	売り場づくり①		教科書 p118～p121 過去問題演習		
6	売り場づくり②		教科書 p122～p127 過去問題演習		
7	売り場づくり③		教科書 p128～p137 過去問題演習		
8	売り場づくり④、⑤、⑥		教科書 p138～p143 過去問題演習		
9	売り場づくり⑦、⑧、⑨		教科書 p144～p147 過去問題演習		
10	売り場づくり⑦、⑧、⑨		教科書 p148～p151 過去問題演習		
11	店舗運営管理①		教科書 p174～p182 過去問題演習		
12	店舗運営管理②		教科書 p183～p186 過去問題演習		
13	店舗運営管理③		教科書 p187～p189 過去問題演習		
14	店舗運営管理④		教科書 p190～p193 過去問題演習		
15	試験対策		模擬テスト		
16	試験対策		模擬問題解答・解説		
17	試験対策		模擬テスト		
18	試験対策		模擬問題解答・解説		
19	前期試験		前期試験		
20	前期試験解答・解説		解答・解説		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
試験評価100% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			教科書は毎時間準備すること 授業内での配布物は全て保管すること		
実務経験教員の経歴	スタイリスト歴15年				

科目名	ファッション販売能力検定対策Ⅱ(B科目)				
担当教員	大澤 清孝		実務授業の有無	○	
対象学科	ブランドプロデュース科、 ファッションビジネス科、 ファッションスタイリスト科 (スタイリストプレスコース)、 大学併修ファッション科	対象学年	2	開講時期	後期
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	40時間
授業形態	対面授業のみ		対面授業と遠隔授業の併用	遠隔授業	
授業概要、目的、 授業の進め方	1.ファッション販売能力検定ⅡB科目の知識を習得 2.ファッションビジネス、ファッションマーケティング、ファッション産業、 ファッショントレンド、商品素材知識、ビジュアルマーチャндаイジング等の理解 3.テキスト、過去問題での復習				
学習目標 (到達目標)	ファッション販売能力検定2級B科目の合格レベルの習得				
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	ファッション販売2/ファッション販売能力検定試験問題集2級				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	B科目過去問題①		第42回 過去問題B科目試験形式及び解答		
2	B科目過去問題①		第42回 過去問題B科目 解説・振り返り		
3	B科目過去問題②		第41回 過去問題B科目試験形式及び解答		
4	B科目過去問題②		第41回 過去問題B科目 解説・振り返り		
5	B科目過去問題③		第40回 過去問題B科目試験形式及び解答		
6	B科目過去問題③		第40回 過去問題B科目 解説・振り返り		
7	B科目過去問題④		第39回 過去問題B科目試験形式及び解答		
8	B科目過去問題④		第39回 過去問題B科目 解説・振り返り		
9	B科目過去問題⑤		第38回 過去問題B科目試験形式及び解答		
10	B科目過去問題⑤		第38回 過去問題B科目 解説・振り返り		
11	A科目過去問題⑥		第37回 過去問題B科目試験形式及び解答		
12	A科目過去問題⑥		第37回 過去問題B科目 解説・振り返り		
13	検定対策		対策ワード解説		
14	検定本番問題の解答・解説①		検定本番問題の解答・解説・振り返り		
15	検定本番問題の解答・解説②		検定本番問題の解答・解説・振り返り		
16	試験対策		模擬問題		
17	試験対策		模擬問題解答・解説		
18	後期試験		後期試験		
19	後期試験解答・解説		解答・解説		
20	一年間のまとめ、振り返り		一年間のまとめ、振り返り		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
試験評価100% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			教科書は毎時間準備すること 授業内での配布物は全て保管すること		
実務経験教員の経歴	スタイリスト歴15年				

科目名	イラストレーターフォトショップC				
担当教員	加藤 真梨/三富 晴美		実務授業の有無	○	
対象学科	ファッションスタイリスト科、 ブランドプロデュース科	対象学年	2	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	40時間
授業形態	対面授業のみ	対面授業と遠隔授業の併用		遠隔授業	
授業概要、目的、 授業の進め方	1.フォトショップの基本操作方法を習得する				
学習目標 (到達目標)	フォトショップの基本的な操作方法を理解しツールを使えるようになる				
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	Adobe PhotshopCC、PhotoshopCCクイックマスター☒				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	インストール		インストール作業		
2	インストール		インストール作業		
3	フォトショップとは		導入：P2～8		
4	基本操作		起動とファイル：P10～21		
5	基本操作		画面表示と色の選択：P22～31		
6	選択範囲の概念		選択ツール：P32～40		
7	選択範囲の概念		その他の選択：P41～45		
8	画像の移動と変形		解像度とサイズ：P46～52		
9	画像の移動と変形		コピー&ペースト：P53～59		
10	カラーの概念		カラーモード：P60～64		
11	カラーの概念		色調補正：P65～71		
12	ペイントツール		ペイント系のツール：P72～96		
13	ペイントツール		ペイント演習：P97		
14	レイヤー操作		レイヤー機能：P98～100		
15	レイヤー操作		レイヤー機能：P101～103		
16	レイヤー操作		レイヤー機能：P104～107		
17	レイヤー操作		レイヤー機能：P108～111		
18	テキストツール		テキストの入力と編集：P128～130		
19	テキストツール		テキストの入力と編集：P131～134		
20	テキストツール		演習P135		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
ペイントの演習50%・テキストの演習50% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			課題は全て提出すること パソコン・テキストを必ず準備すること		
実務経験教員の経歴	ブライダルやファッションの現役カメラマン。現在9年経験 /ブライダルやファッションの現役カメラマン。現在12年経験				

科目名	イラストレーターフォトショップC				
担当教員	加藤 真梨/三富 晴美	実務授業の有無	○		
対象学科	ファッションスタイリスト科、 ブランドプロデュース科	対象学年	2	開講時期	後期
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	40時間
授業形態	対面授業のみ	対面授業と遠隔授業の併用		遠隔授業	
授業概要、目的、 授業の進め方	1.フォトショップの応用操作方法を習得する				
学習目標 (到達目標)	フォトショップの応用操作方法を理解しコラージュマップの作成や写真の合成ができるようになる。				
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	Adobe PhotoshopCC、PhotoshopCCクイックマスター☒				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	フィルターについて		フィルターの概要：P136～151		
2	画像編集・フォトレタッチ		色調補正：P164～180		
3	画像編集・フォトレタッチ		写真補正演習：P181		
4	ロゴデザイン		ロゴデザインについて：P182～187		
5	ロゴデザイン		ロゴデザインについて：P188～193		
6	ロゴデザイン		ロゴデザインについて：P194～198		
7	ロゴデザイン		ロゴデザイン演習：P199		
8	カード、ステーションナリーデザイン		ポップ制作：P200～207		
9	カード、ステーションナリーデザイン		ポップ制作：P208～215		
10	フォトコラージュ		写真の合成①：P216～221		
11	フォトコラージュ		写真の合成②：P222～227		
12	フォトコラージュ		写真の合成③：P228～233		
13	オリジナルポートフォリオ制作		課題画像加工		
14	オリジナルポートフォリオ制作		ページ構成・レイアウト		
15	オリジナルポートフォリオ制作		コラージュ・合成作成		
16	オリジナルポートフォリオ制作		テキスト・ロゴマーク配置		
17	オリジナルポートフォリオ制作		ブックにまとめ		
18	オリジナルポートフォリオ制作		ブックにまとめ		
19	オリジナルポートフォリオ制作		プレゼンテーション・提出		
20	オリジナルポートフォリオ制作		プレゼンテーション・講評		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
オリジナルポートフォリオ100% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			課題は全て提出すること パソコン・テキストを必ず準備すること		
実務経験教員の経歴	ブライダルやファッションの現役カメラマン。現在9年経験 /ブライダルやファッションの現役カメラマン。現在12年経験				

科目名	メイクテクニックⅡ				
担当教員	渡邊 見奈子		実務授業の有無	○	
対象学科	ファッションスタイリスト科 ブランドプロデュース科	対象学年	2	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数	3	時間数	60時間
授業形態	対面授業のみ	対面授業と遠隔授業の併用		遠隔授業	
授業概要、目的、授業の進め方	1 顔の骨格の仕組みを修得 2 トレース技術を修得 3 メイクテクニックⅠの知識を基礎に技術力を上げる。				
学習目標 (到達目標)	1.骨格を理解し、立体的にメイクを表現できる。2.テーマに合わせたトレース、メイクを考え、表現し、施術できる。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	配布資料				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	顔のパーツバランス、骨格と立体1		ワークシート作成、メイクテクニックⅠ技術チェック		
2	顔のパーツバランス、骨格と立体1		ワークシート作成、メイクテクニックⅠ技術チェック		
3	骨格と立体2		ワークシート作成		
4	骨格と立体3		春夏秋冬の色彩を意識しワークシート作成		
5	骨格と立体3		春夏秋冬の色彩を意識しワークシート作成		
6	基礎技術 着物メイク1		着物の柄に合わせたヘアメイクを立案		
7	基礎技術 着物メイク1		着物の柄に合わせたヘアメイクを立案		
8	基礎技術 着物メイク2		相モデルで時間内に作成し、ワークシート提出		
9	基礎技術 着物メイク3		相モデルで時間内に作成し、ワークシート提出		
10	基礎技術 ウエディングメイク1		ウエディングドレスに合わせたヘアメイク立案		
11	基礎技術 ウエディングメイク1		ウエディングドレスに合わせたヘアメイク立案		
12	基礎技術 ウエディングメイク2		相モデルで時間内に作成し、ワークシート提出		
13	基礎技術 ウエディングメイク3		相モデルで時間内に作成し、ワークシート提出		
14	基礎技術 年代別メイク1		50年代～80年代の時代背景、メイクを調べ立案		
15	基礎技術 年代別メイク1		50年代～80年代の時代背景、メイクを調べ立案		
16	基礎技術 年代別メイク2		相モデルで時間内に作成し、ワークシート提出		
17	基礎技術 年代別メイク3		相モデルで時間内に作成し、ワークシート提出		
18	基礎技術 動物メイク1		動物の顔、特徴(色、柄)を観察し現代風に立案		
19	基礎技術 動物メイク2		相モデルで時間内に作成し、ワークシート提出		
20	基礎技術 動物メイク3		相モデルで時間内に作成し、ワークシート提出		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
実習60%、ワークシート30%、学習意欲10% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			メイクテクニックⅠで学んだ事をしっかりと意識し、実習に臨むこと。全ての実習項目に出席し、全てのワークシートを提出すること。		
実務経験教員の経歴	ビューティーアドバイザーとして美容現場に7年間係っていた				

国際トータルファッション専門学校 シラバス

科目名	メイクテクニックII				
担当教員	渡邊 見奈子	実務授業の有無	○		
対象学科	ファッションスタイリスト科 ブランドプロデュース科	対象学年	2	開講時期	後期
必修・選択	必修	単位数	3	時間数	60時間
授業形態	対面授業のみ	対面授業と遠隔授業の併用	遠隔授業		
授業概要、目的、授業の進め方	1 色々なメイクの応用力をあげる。 2 メイクセラピーを理解する。				
学習目標 (到達目標)	1.テーマに合わせたトレース、メイクを考え表現し、施術できる。2.メイクセラピー検定合格				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	メイクセラピー入門(3級対策)、配布資料				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	基礎技術 特殊メイク		ゼラチン、絵の具でアザ、やけど作成		
2	基礎技術 特殊メイク		ゼラチン、絵の具でアザ、やけど作成		
3	メイクセラピー検定対策		指定教科書 P4~17		
4	メイクセラピー検定対策		指定教科書 P18~25		
5	メイクセラピー検定対策		指定教科書 P26~33		
6	メイクセラピー検定対策		指定教科書 P34~43		
7	メイクセラピー検定対策		指定教科書 P44~54		
8	メイクセラピー検定対策		過去問題と答え合わせ		
9	メイクセラピー検定対策		過去問題と答え合わせ		
10	メイクセラピー検定対策		過去問題と答え合わせ		
11	メイクセラピー検定対策		過去問題と答え合わせ		
12	基礎技術 色メイク1		その色が持つイメージをヘアメイク立案		
13	基礎技術 色メイク1		その色が持つイメージをヘアメイク立案		
14	基礎技術 色メイク2		相モデルで時間内に作成し、ワークシート提出		
15	基礎技術 色メイク3		相モデルで時間内に作成し、ワークシート提出		
16	基礎技術 自由課題1		学んだ技術を定着させ、好きなテーマでのメイク立案		
17	基礎技術 自由課題2		相モデルで時間内に作成し、ワークシート提出		
18	基礎技術 自由課題3		相モデルで時間内に作成し、ワークシート提出		
19	基礎技術 自由課題4		相モデルで時間内に作成し、ワークシート提出		
20	基礎技術 自由課題5		相モデルで時間内に作成し、ワークシート提出		
評価方法・成績評価基準		履修上の注意			
実習60%、ワークシート30%、学習意欲10% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。		学んだ事をしっかりと意識して実習に臨むこと。全ての実習項目に出席し、全てのワークシートを提出すること。			
実務経験教員の経歴	ビューティーアドバイザーとして美容現場に7年間係っていた				

科目名	WEBショップⅡ				
担当教員	大倉 敦志	実務授業の有無	○		
対象学科	ファッションビジネス科、 ブランドプロデュース科、 大学併修ファッション科	対象学年	2	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	40時間
授業形態	対面授業のみ	対面授業と遠隔授業の併用		遠隔授業	
授業概要、目的、 授業の進め方	ECサイトBASEにて、生徒独自のネットショップの作成し運営を行う 一般消費者に対して商品の販売・顧客対応・プロモーションを行う HPの作成方法、WEBの基礎知識、SEO、商品登録、顧客対応、インサイトの分析を学ぶことでwebshop運 営の技術を習得する				
学習目標 (到達目標)	webshop作成方法と運営の技術を習得する				
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	オリジナル資料				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	ECの現状と授業での運営方法について		実際のECサイトからわかるECについての講義		
2	商品の仕入れと販売について		ドロップシッピングについての講義		
3	商品の仕入れと販売について		ドロップシッピングについての講義		
4	ランチェスター戦略		ランチェスター戦略の基本概念とその応用について		
5	ショップコンセプト決め		ショップコンセプトを決める実習		
6	ショップコンセプト決め		ショップコンセプトを決める実習		
7	ログイン・ショップ制作開始		アカウント作成とショップ作成の実習		
8	初期設定と特定商取引法に関する記載の入力		特定商取引法に関する記載についての講義と実習		
9	初期設定と特定商取引法に関する記載の入力		特定商取引法に関する記載についての講義と実習		
10	商品デザイン		Adobe Illustratorを使った商品デザインと登録手順の講義		
11	商品デザイン		Adobe Illustratorを使った商品デザインと登録手順の講義		
12	商品登録		Adobe Illustratorを使った商品デザインと登録手順の講義		
13	商品登録		Adobe Illustratorを使った商品デザインと登録手順の講義		
14	SEOとその役割		SEOについての講義と実習		
15	SEOとその役割		SEOについての講義と実習		
16	TOPページデザイン		TOPページの作成方法とCVRが上がるページについての講 義		
17	TOPページデザイン		TOPページの作成方法とCVRが上がるページについての講 義		
18	バナー作成		ショップコンセプト・TOPページ・商品に基づきバナーを 作成する実習		
19	バナー作成		ショップコンセプト・TOPページ・商品に基づきバナーを 作成する実習		
20	SHOPオープン		SHOPオープン時の注意点と最終確認		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
実技課題90%、学習意欲10% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下) とする。			講義で学んだことを踏まえ課題に取り組む。クオリティが低い場 合は、再提出とする事がある。全ての課題を提出する事。		
実務経験教員の経歴	県内ニッターでボタンナー、生産管理を歴任。フリーランスでWEBデザインやブランディングを経験。				

科目名	WEBショップⅡ				
担当教員	大倉 敦志	実務授業の有無	○		
対象学科	ファッションビジネス科、 ブランドプロデュース科、 大学併修ファッション科	対象学年	2	開講時期	後期
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	40時間
授業形態	対面授業のみ	対面授業と遠隔授業の併用		遠隔授業	
授業概要、目的、 授業の進め方	ECサイトBASEにて、生徒独自のネットショップの作成し運営を行う 一般消費者に対して商品の販売・顧客対応・プロモーションを行う HPの作成方法、WEBの基礎知識、SEO、商品登録、顧客対応、インサイトの分析を学ぶことでwebshop運 営の技術を習得する				
学習目標 (到達目標)	webshop作成方法と運営の技術を習得する				
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	オリジナル資料				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	インサイト確認・分析		インサイトを分析し、売上げを上げるための講義		
2	インサイト確認・分析		インサイトを分析し、売上げを上げるための講義		
3	アカウントの見直し		分析結果を踏まえ、ショップコンセプトを見直す実習		
4	商品デザイン、商品登録		秋冬用の商品を作成する実習		
5	商品デザイン、商品登録		秋冬用の商品を作成する実習		
6	商品デザイン、商品登録		秋冬用の商品を作成する実習		
7	SEO対策と関連ブログ記事作成		集客をするためのSEOの講義とブログを作成する実習		
8	SEO対策と関連ブログ記事作成		集客をするためのSEOの講義とブログを作成する実習		
9	プロモーション用の企画作成		集客をするための企画作成		
10	プロモーション用の企画作成		集客をするための企画作成		
11	プロモーション用の企画作成		集客をするための企画作成		
12	冬用トップページ修正		秋冬用のTOPページに変更する実習		
13	冬用トップページ修正		秋冬用のTOPページに変更する実習		
14	冬用トップページ修正		秋冬用のTOPページに変更する実習		
15	バナー作成		秋冬用のTOPページに合わせたバナーを作成する実習		
16	バナー作成		秋冬用のTOPページに合わせたバナーを作成する実習		
17	SEO対策		集客をするためのSEOの講義とブログを作成する実習		
18	SEO対策		集客をするためのSEOの講義とブログを作成する実習		
19	GOOGLEサーチコンソールについて		GOOGLEサーチコンソールについて		
20	最終課題提出とまとめ		最終課題提出とまとめ		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
実技課題90%、学習意欲10% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			講義で学んだことを踏まえ課題に取り組む。クオリティが低い場合は、再提出とする事がある。全ての課題を提出する事。		
実務経験教員の経歴	県内ニッターでボタンナー、生産管理を歴任。フリーランスでWEBデザインやブランディングを経験。				

科目名	英会話				
担当教員	マッティア ラレセ		実務授業の有無	○	
対象学科	ファッションデザイン科、 コスチュームデザイン科、 ブランドプロデュース科 ファッションスタイリスト科、 ファッションビジネス科、 大学併修ファッション科	対象学年	2	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数	1	時間数	20時間
授業形態	対面授業のみ	対面授業と遠隔授業の併用		遠隔授業	
授業概要、目的、 授業の進め方	英語でのコミュニケーション力、ファッションに関する英語力を高める。				
学習目標 (到達目標)	ファッションに関する英単語等を覚える。				
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	オリジナルプリント				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	紹介① 友達などの紹介のしかた		プリント1		
2	紹介② 性格と主張		プリント2		
3	紹介		ワークシート1 (紹介)		
4	単数、複数		プリント3		
5	単数、複数		ワークシート2 (単数)、会話		
6	単数、複数		ワークシート2 (複数)、会話		
7	衣服① 名称、色		プリント4		
8	衣服① 名称、色		ワークシート3 (衣服の名称)		
9	衣服① 名称、色		ワークシート4 (衣服の名称)		
10	衣服② 動詞、形容詞		プリント5		
11	衣服② 動詞、形容詞		ワークシート5 (動詞、形容詞を使って衣服を表す)		
12	衣服② 動詞、形容詞		ワークシート6 (動詞、形容詞を使って衣服を表す)		
13	衣服③ 形容詞		プリント6、会話		
14	衣服③ 形容詞		プリント7		
15	衣服③ 形容詞		プリント8		
16	衣服③ 形容詞		文章作成		
17	衣服③ 形容詞		復習、会話		
18	復習		ワークシート7		
19	復習		ワークシート8		
20	まとめ		前期まとめ		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
定期試験60%、課題10%、授業態度15%、学習意欲15% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			英語の基礎を押さえながら、ファッションに関する英語の知識も押さえること。		
実務経験教員の経歴	専門学校や英会話教室で3年以上教鞭を取る				

科目名	英会話				
担当教員	マッティア ラレセ	実務授業の有無	○		
対象学科	ファッションデザイン科、 コスチュームデザイン科、 ブランドプロデュース科 ファッションスタイリスト科、 ファッションビジネス科、 大学併修ファッション科	対象学年	2	開講時期	後期
必修・選択	必修	単位数	1	時間数	20時間
授業形態	対面授業のみ	対面授業と遠隔授業の併用		遠隔授業	
授業概要、目的、 授業の進め方	英語でのコミュニケーション力、ファッションに関する英語力を高める。				
学習目標 (到達目標)	ファッションに関する英単語等を覚える。				
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	オリジナルプリント				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	前置詞		プリント9、リスニング		
2	前置詞		プリント9、会話		
3	前置詞		ワークシート9 (文章作成)		
4	前置詞		ワークシート10		
5	前置詞		ワークシート11 (文章作成)		
6	服のお直しのための英語		プリント10、会話		
7	服のお直しのための英語		ワークシート12		
8	服のお直しのための英語		ワークシート12 (文章作成)		
9	服を販売するときの英語		ワークシート13 (会話)		
10	服を販売するときの英語		プリント11		
11	服を販売するときの英語		ワークシート13 (文章作成)		
12	裁縫道具等の英語		プリント12		
13	裁縫道具等の英語		プリント12 (会話)		
14	裁縫道具等の英語		ワークシート14 (文章作成)		
15	復習		ワークシート15		
16	復習		ワークシート16		
17	総復習		ワークシート1~8		
18	総復習		ワークシート9~16		
19	まとめ		後期まとめ		
20	まとめ		総まとめ		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
定期試験60%、課題10%、授業態度15%、学習意欲15% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			英語の基礎を押さえながら、ファッションに関する英語の知識も押さえること。		
実務経験教員の経歴	専門学校や英会話教室で3年以上教鞭を取る				

科目名	ファッションリメイク				
担当教員	小山 かおり	実務授業の有無	○		
対象学科	ファッションスタイリスト科、 (スタイリスト・プレスコース) ブランドプロデュース科	対象学年	2	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数	3	時間数	60時間
授業形態	対面授業のみ	対面授業と遠隔授業の併用		遠隔授業	
授業概要、目的、 授業の進め方	1.基本的な縫製テクニックの習得 2.ミシン・アイロンなど道具の扱い方の習得				
学習目標 (到達目標)	縫製・採寸の基礎知識を学び、スカートの制作を通して基礎的な手縫い・ミシンの使い方を習得する				
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	縫製道具一式				
回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考			
1	導入・手縫い基礎	まつり縫い・ボタンつけ			
2	ミシン縫い基礎	糸かけ・ミシン使い方・アイロン使い方			
3	パターン知識	名称・仕様について			
4	パターン初期演習	縫代付け・仕様記入			
5	パターン実習①	パターンカット			
6	パターン実習②	パターン縫合チェック			
7	スカート制作	生地準備			
8	スカート制作	裁断			
9	スカート制作	芯貼り			
10	スカート制作	事前アイロン			
11	スカート制作	ロックミシン練習・使い方			
12	スカート制作	パーツロックかけ			
13	スカート制作	脇縫い			
14	スカート制作	ベルト付け			
15	スカート制作	ベルト始末			
16	スカート制作	裾上げ			
17	スカート制作	付属付け			
18	仕上げ・まとめ・アイロン	仕上げアイロンかけ方			
19	発表	発表・検討会			
20	一年間の振り返り・反省	一年間の振り返り・反省			
評価方法・成績評価基準		履修上の注意			
課題：手縫い課題20%/スカート70%/学習意欲10% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。		全ての課題を提出すること 道具の管理・使い方は決められたルールで行うこと			
実務経験教員の経歴	縫製業にて11年間勤務				

科目名	ファッションリメイク				
担当教員	小山 かおり	実務授業の有無	○		
対象学科	ファッションスタイリスト科、 (スタイリスト・プレスコース) ブランドプロデュース科	対象学年	2	開講時期	後期
必修・選択	必修	単位数	3	時間数	60時間
授業形態	対面授業のみ	対面授業と遠隔授業の併用		遠隔授業	
授業概要、目的、 授業の進め方	1.基本的な縫製テクニックの習得 2.ミシン・アイロンなど道具の扱い方の習得 3.半袖シャツの縫い方の習得				
学習目標 (到達目標)	縫製・採寸の基礎知識を学び、シャツの制作を通して一着丸縫いできる基礎を習得				
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	縫製道具一式				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	パターン配布・説明		仕様・名称説明		
2	パターンワーク		パターン制作・チェック		
3	半袖シャツ制作		生地決定		
4	半袖シャツ制作		裁断・芯貼り		
5	半袖シャツ制作		前身頃パーツ縫い		
6	半袖シャツ制作		後ろ身頃パーツ縫い		
7	半袖シャツ制作		後ろ身頃パーツ縫い		
8	半袖シャツ制作		袖パーツ縫い		
9	半袖シャツ制作		衿パーツ縫い		
10	半袖シャツ制作		見頃ドッキング		
11	半袖シャツ制作		袖ドッキング		
12	半袖シャツ制作		アームホールロック		
13	半袖シャツ制作		衿ドッキング		
14	半袖シャツ制作		そで下・脇縫い		
15	半袖シャツ制作		そで下・脇 ロック		
16	半袖シャツ制作		ボタンホール		
17	半袖シャツ制作		ボタンつけ		
18	仕上げ・まとめ・アイロン		仕上げアイロンかけ方		
19	発表		発表・検討会		
20	一年間の振り返り・反省		一年間の振り返り・反省		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
課題：手縫い課題20%/半袖シャツ70%/学習意欲10% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			全ての課題を提出すること 道具の管理・使い方は決められたルールで行うこと		
実務経験教員の経歴	縫製業にて11年間勤務				

科目名	ファッションフォトII				
担当教員	三富 晴美		実務授業の有無	○	
対象学科	ブランドプロデュース科	対象学年	2	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数	3	時間数	60時間
授業形態	対面授業のみ	対面授業と遠隔授業の併用		遠隔授業	
授業概要、目的、授業の進め方	1. 1年生で身につけた撮影技術を基に様々な写真を撮影する。 2. 撮影した写真をフォトショップを使用し加工・編集する技術を身につける 3. 最終課題で自分の自分のブランドページを作成				
学習目標 (到達目標)	カメラの基礎的な操作方法、スタジオでのマナー使用方を学ぶ。人物撮りのテクニック・物撮りなど実習だけでなくプリントなどを配布し撮影の知識を学ぶ。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	なし				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	カメラのおさらい、撮影提出		三分割・額縁・レンズ・光など復習と撮影		
2	写真集課題1 企画書の立案		写真集を作成企画書の立案		
3	露出補正・シーン別の撮影方法		様々な写真のテクニックを学ぶ「露出補正・シーン」		
4	集合写真と画像編集		集合写真の構成や撮影後の画像編集のテクニック		
5	風景を上手に撮影する方法		風景写真の撮影方法テクニック		
6	水平編集・トリミング加工・コントラスト・シャドー加工1		集合写真の構成や撮影後の画像編集のテクニック		
7	水平編集・トリミング加工・コントラスト・シャドー加工2		フォトショップを使用した編集方法		
8	水平編集・トリミング加工・コントラスト・シャドー加工3		フォトショップを使用した編集方法		
9	夜の撮影・暗い空間での撮影		暗い場所や夜景などでの撮影方法を学ぶ		
10	フォトショップを使用した写真加工の色々1		フォトショップを使用した編集方法		
11	フォトショップを使用した写真加工の色々2		フォトショップを使用した編集方法		
12	フォトショップを使用した写真加工の色々3		フォトショップを使用した編集方法		
13	写真集課題2 自由課題ファッションページを作成		写真集の作成と撮影		
14	写真集課題3 自由課題ファッションページを作成		写真集の作成と撮影		
15	写真集課題4 自由課題ファッションページを作成		写真集の作成と撮影		
16	写真集課題5 自由課題ファッションページを作成		写真集の作成と撮影		
17	写真集課題6 自由課題ファッションページを作成		写真集の作成と撮影		
18	写真集課題7 自由課題ファッションページを作成		写真集の作成と撮影		
19	写真集課題8 自由課題ファッションページを作成		写真集の作成と撮影		
20	写真集課題9 自由課題ファッションページを作成		写真集の作成と撮影		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
実技課題90%、学習意欲10% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			写真撮影課題を評価し成績とする		
実務経験教員の経歴	ブライダルやファッションの現役カメラマン。現在12年経験				

科目名	ファッションフォトII				
担当教員	三富 晴美		実務授業の有無	○	
対象学科	ブランドプロデュース科	対象学年	2	開講時期	後期
必修・選択	必修	単位数	3	時間数	60時間
授業形態	対面授業のみ	対面授業と遠隔授業の併用		遠隔授業	
授業概要、目的、授業の進め方	1. 1年生で身につけた撮影技術を基に様々な写真を撮影する。 2. 撮影した写真をフォトショップを使用し加工・編集する技術を身につける 3. 最終課題で自分のブランドページを作成				
学習目標 (到達目標)	カメラの基礎的な操作方法、スタジオでのマナー使用方法を学ぶ。人物撮りのテクニック・物撮りなど実習だけでなくプリントなどを配布し撮影の知識を学ぶ。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	なし				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	商品の物撮り（ブランドページの撮影）1		WEB掲載用の写真撮影方向を学び撮影する40アイテム		
2	商品の物撮り（ブランドページの撮影）2		WEB掲載用の写真撮影方向を学び撮影する40アイテム		
3	商品の物撮り（ブランドページの撮影）3		WEB掲載用の写真撮影方向を学び撮影する40アイテム		
4	商品の物撮り（ブランドページの撮影）4		WEB掲載用の写真撮影方向を学び撮影する40アイテム		
5	人物撮影（ブランドページの撮影）1		ブランドページ用の人物撮影10カット		
6	人物撮影（ブランドページの撮影）2		ブランドページ用の人物撮影10カット		
7	人物撮影（ブランドページの撮影）3		ブランドページ用の人物撮影10カット		
8	人物撮影（ブランドページの撮影）4		ブランドページ用の人物撮影10カット		
9	人物撮影（ブランドページの撮影）5		ブランドページ用の人物撮影10カット		
10	ブランドページ作成編集作業1		イラストレーター、フォトショップを使用した編集作業		
11	ブランドページ作成編集作業2		イラストレーター、フォトショップを使用した編集作業		
12	ブランドページ作成編集作業3		イラストレーター、フォトショップを使用した編集作業		
13	ブランドページ作成編集作業4		イラストレーター、フォトショップを使用した編集作業		
14	ブランドページ作成編集作業5		イラストレーター、フォトショップを使用した編集作業		
15	ブランドページ作成編集作業6		イラストレーター、フォトショップを使用した編集作業		
16	ブランドページ作成編集作業7		イラストレーター、フォトショップを使用した編集作業		
17	ブランドページ作成編集作業8		イラストレーター、フォトショップを使用した編集作業		
18	ブランドページのプレゼンテーション1		WEBページのプレゼンテーション発表		
19	ブランドページのプレゼンテーション2		WEBページのプレゼンテーション発表		
20	ブランドページのプレゼンテーション3		WEBページのプレゼンテーション発表		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
実技課題90%、学習意欲10% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			写真撮影課題を評価し成績とする		
実務経験教員の経歴	ブライダルやファッションの現役カメラマン。現在12年経験				

科目名	卒業制作				
担当教員	久島 実里/大倉 敦志	実務授業の有無	○		
対象学科	ブランドプロデュース科	対象学年	2	開講時期	後期
必修・選択	必修	単位数	6	時間数	120時間
授業形態	対面授業のみ	対面授業と遠隔授業の併用		遠隔授業	
授業概要、目的、授業の進め方	1.オリジナルブランドの立案 2.プレゼンテーション 3.グラフィック・パターン・縫製の職出し 4.メイクプランニング				
学習目標 (到達目標)	2年間の集大成としてオリジナルブランドを立ち上げ、ファッションショー形式で発表する				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	Adobe IllustratorCC				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	企画書制作		リサーチ/マーケティング		
2	企画書制作		コンセプトワーク		
3	企画書制作		ターゲットリサーチ・マーケティング		
4	企画書制作		トレンドマーケティング		
5	企画書制作		シーズンテーマワーク		
6	企画書制作		カラー・素材・ディティール		
7	プレゼンテーション		企画会議		
8	デザインワーク		ラフデザイン出し		
9	デザインワーク		デザイン会議		
10	グラフィックデザインワーク		生地デザイン		
11	グラフィックデザインワーク		生地・素材会議		
12	職出し		パターン職出し仕様書作成		
13	職出し		パターン職出し・企業打合せ		
14	縫製職出し		縫製職出し仕様書作成		
15	縫製職出し		縫製職出し・打ち合わせ		
16	縫製職出し		製品アップ・チェック		
17	ファッションショー		フィッティング		
18	ファッションショー		修正		
19	ファッションショー		リハーサル		
20	ファッションショー		本番		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
企画書60%/プレゼンテーション40% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			全ての課題を提出すること 与えられた課題に対してのテーマ設定・コンセプトを作成しオリジナリティのあるブランドを立案すること		
実務経験教員の経歴	家政系大学卒業後、アパレル販売職を4年経験後、企画職を3年間経験/県内ニッターでパタンナー、生産管理を歴任。フリーランスでWEBデザインやブランディングを経験。				

科目名		就職実務 II			
担当教員	久島 実里	実務授業の有無	×		
対象学科	ブランドプロデュース科	対象学年	2	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数	1	時間数	20時間
授業形態	対面授業のみ	対面授業と遠隔授業の併用		遠隔授業	
授業概要、目的、授業の進め方	1、就職の面接練習 2、企業研究の方法を知る 3、エントリーシート対策				
学習目標 (到達目標)	ファッション業界の就職活動において企業研究が出来自己PR面接に活かせるようになる				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	なし				
回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考			
1	自己PR文章作成 1	エントリーシート・履歴書用自己PRの作成			
2	自己PR文章作成 2	エントリーシート・履歴書用自己PRの作成			
3	自己PR文章作成 3	エントリーシート・履歴書用自己PRの作成			
4	GD対策 1	GD対策授業面接練習			
5	GD対策 2	GD対策授業面接練習			
6	GD対策 3	GD対策授業面接練習			
7	グループ面接対策 1	グループ面接実践			
8	グループ面接対策 2	グループ面接実践			
9	グループ面接対策 3	グループ面接実践			
10	グループ面接対策 4	グループ面接実践			
11	メールのマナー・添え状・お礼状など	メールでの文章作成の基本。添え状テンプレ作成			
12	企業リスタアップ 1	企業研究を深め企業を絞り込む			
13	企業リスタアップ 2	企業研究を深め企業を絞り込む			
14	適性検査の基本	適性検査について評価のポイント			
15	SPA対策	SPA試験対策指導			
16	社会人マナー検定対策 1	社会人常識マナー検定対策授業			
17	社会人マナー検定対策 2	社会人常識マナー検定対策授業			
18	社会人マナー検定対策 3	社会人常識マナー検定対策授業			
19	社会人マナー検定対策 4	社会人常識マナー検定対策授業			
20	社会人マナー検定対策 5	社会人常識マナー検定対策授業			
評価方法・成績評価基準		履修上の注意			
社会人常識マナー検定模擬試験での評価 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。		特になし			
実務経験教員の経歴	家政系大学卒業後、アパレル販売職を4年経験後、企画職を3年間経験				

科目名	就職実務 II				
担当教員	久島 実里	実務授業の有無	×		
対象学科	ブランドプロデュース科	対象学年	2	開講時期	後期
必修・選択	必修	単位数	1	時間数	20時間
授業形態	対面授業のみ	対面授業と遠隔授業の併用		遠隔授業	
授業概要、目的、授業の進め方	1、就職の面接練習 2、企業研究の方法を知る 3、エントリーシート対策				
学習目標 (到達目標)	ファッション業界の就職活動において企業研究が出来自己PR面接に活かせるようになる				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	なし				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	社会人常識マナー検定対策6		社会人常識マナー検定対策授業		
2	社会人常識マナー検定対策7		社会人常識マナー検定対策授業		
3	社会人常識マナー検定対策8		社会人常識マナー検定対策授業		
4	内定者／他課題制作授業	未内定者／個別指導	内定者は他科目の課題制作授業 未内定者個人指導面談		
5	内定者／他課題制作授業	未内定者／個別指導	内定者は他科目の課題制作授業 未内定者個人指導面談		
6	内定者／他課題制作授業	未内定者／個別指導	内定者は他科目の課題制作授業 未内定者個人指導面談		
7	内定者／他課題制作授業	未内定者／個別指導	内定者は他科目の課題制作授業 未内定者個人指導面談		
8	内定者／他課題制作授業	未内定者／個別指導	内定者は他科目の課題制作授業 未内定者個人指導面談		
9	内定者／他課題制作授業	未内定者／個別指導	内定者は他科目の課題制作授業 未内定者個人指導面談		
10	内定者／他課題制作授業	未内定者／個別指導	内定者は他科目の課題制作授業 未内定者個人指導面談		
11	内定者／他課題制作授業	未内定者／個別指導	内定者は他科目の課題制作授業 未内定者個人指導面談		
12	内定者／他課題制作授業	未内定者／個別指導	内定者は他科目の課題制作授業 未内定者個人指導面談		
13	内定者／他課題制作授業	未内定者／個別指導	内定者は他科目の課題制作授業 未内定者個人指導面談		
14	内定者／他課題制作授業	未内定者／個別指導	内定者は他科目の課題制作授業 未内定者個人指導面談		
15	内定者／他課題制作授業	未内定者／個別指導	内定者は他科目の課題制作授業 未内定者個人指導面談		
16	内定者／他課題制作授業	未内定者／個別指導	内定者は他科目の課題制作授業 未内定者個人指導面談		
17	内定者／他課題制作授業	未内定者／個別指導	内定者は他科目の課題制作授業 未内定者個人指導面談		
18	内定者／他課題制作授業	未内定者／個別指導	内定者は他科目の課題制作授業 未内定者個人指導面談		
19	内定者／他課題制作授業	未内定者／個別指導	内定者は他科目の課題制作授業 未内定者個人指導面談		
20	内定者／他課題制作授業	未内定者／個別指導	内定者は他科目の課題制作授業 未内定者個人指導面談		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
社会人常識マナー検定模擬試験での評価 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			特になし		
実務経験教員の経歴	家政系大学卒業後、アパレル販売職を4年経験後、企画職を3年間経験				

科目名	異文化研究				
担当教員	神戸 悠太		実務授業の有無	○	
対象学科	ブランドプロデュース科、 大学併修ファッション科	対象学年	2	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数	1	時間数	20時間
授業形態	対面授業のみ	対面授業と遠隔授業の併用		遠隔授業	
授業概要、目的、 授業の進め方	1.海外研修旅行の準備を通じ国際的感覚の育成 2.海外ファッション、アパレルの知識の習得 3.輸入、関税の仕組み、留学に対する知識の習得				
学習目標 (到達目標)	研修旅行の準備を通じ、海外旅行に必要なプロセスの習得及び、国際感覚を身につけることが目標				
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	なし				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	アメリカ・ロサンゼルスについて①		スライド資料で都市の歴史・特徴講義		
2	アメリカ・ロサンゼルスについて②		スライド資料で都市の歴史・特徴講義		
3	アメリカ・ロサンゼルスについて③		スライド資料で都市の歴史・特徴講義		
4	アメリカブランドの歴史		アメリカを代表するブランド講義		
5	アメリカ・ロサンゼルス バーチャルバイイング授業①		現地在住バイヤー講師からのバイイング理論講義		
6	アメリカ・ロサンゼルス バーチャルバイイング授業②		現地在住バイヤー講師からのバイイング理論講義		
7	アメリカ・ロサンゼルス バーチャルバイイング授業③		現地在住バイヤー講師からのバイイング理論講義		
8	アメリカ・ロサンゼルス 映画衣装デザイン授業①		ハリウッドFIDM校との提携授業		
9	アメリカ・ロサンゼルス 映画衣装デザイン授業①		ハリウッドFIDM校との提携授業		
10	アメリカ・ロサンゼルス 映画衣装デザイン授業①		ハリウッドFIDM校との提携授業		
11	韓国・ソウルについて①		スライド資料で都市の歴史・特徴講義		
12	韓国・ソウルについて②		スライド資料で都市の歴史・特徴講義		
13	韓国・ソウルについて③		スライド資料で都市の歴史・特徴講義		
14	韓国ファッション論①		韓国のファッション歴史や特徴講義		
15	韓国ファッション論②		韓国のメイク歴史や特徴講義		
16	フランス・パリについて①		スライド資料で都市の歴史・特徴講義		
17	フランス・パリについて②		スライド資料で都市の歴史・特徴講義		
18	フランス・パリについて③		スライド資料で都市の歴史・特徴講義		
19	フランスブランドの歴史①		フランスを代表するブランドからの講義		
20	フランスブランドの歴史②		フランスを代表するブランドからの講義		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
レポート評価：100% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			各国、各都市の特徴、歴史をよく理解し、意欲的な姿勢で授業に臨むこと		
実務経験教員の経歴	オリジナルブランドの経営を12年間、ショップ経営を3年間行っていた				

科目名	異文化研究				
担当教員	神戸 悠太		実務授業の有無	○	
対象学科	ブランドプロデュース科、 大学併修ファッション科	対象学年	2	開講時期	後期
必修・選択	必修	単位数	1	時間数	20時間
授業形態	対面授業のみ	対面授業と遠隔授業の併用		遠隔授業	
授業概要、目的、 授業の進め方	1.海外研修旅行の準備を通じ国際感覚の育成 2.海外ファッション、アパレルの知識の習得 3.輸入、関税の仕組み、留学に対する知識の習得				
学習目標 (到達目標)	研修旅行の準備を通じ、海外旅行に必要なプロセスの習得及び、国際感覚を身につけることが目標				
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	なし				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	イタリア・フィレンツェについて①		スライド資料で都市の歴史・特徴講義		
2	イタリア・フィレンツェについて②		スライド資料で都市の歴史・特徴講義		
3	イタリア・フィレンツェについて③		スライド資料で都市の歴史・特徴講義		
4	イタリア・ミラノについて①		スライド資料で都市の歴史・特徴講義		
5	イタリア・ミラノについて②		スライド資料で都市の歴史・特徴講義		
6	イタリア・ミラノについて③		スライド資料で都市の歴史・特徴講義		
7	イタリアブランドの歴史		イタリアを代表するブランド講義		
8	モードファッションについて		フランス在住デザイナーからの講義		
9	海外研修旅行について①		研修内容講義		
10	海外研修旅行について②		研修内容講義		
11	海外研修旅行について③		パスポートについて講義		
12	海外研修旅行について④		クレジットカード・海外通貨について		
13	海外研修旅行について⑤		研修先企業について講義		
14	海外研修旅行について⑥		研修先企業について講義		
15	海外研修旅行について⑦		研修先企業について講義		
16	海外研修旅行について⑧		研修中注意事項①		
17	海外研修旅行について⑨		研修中注意事項②		
18	海外研修旅行について⑩		出発前の最終注意事項		
19	研修期間①		研修先での研修及び演習		
20	研修期間②		研修先での研修及び演習		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
課題：研修後レポート 授業態度：研修後レポート80% 授業態度(研修態度)20% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			セキュリティや治安をよく理解し、協力的な団体活動を行うこと 研修先では前向きで意欲的に学ぶこと		
実務経験教員の経歴	オリジナルブランドの経営を12年間、ショップ経営を3年間行っていた				